

ドミニカ共和国

公募予定アイデア②

ドミ共/カリブ
×
サルガッサム

(相手国政府のニーズを起点とした
革新的なアプローチ検証)



面積	48,442km2 ★九州+高知県
人口	約1,123万人 (2022年時点)
首都	サントドミンゴ
GDP成長率	4.9% (2022年時点) ★中南米
主要産業	観光業、農業、鉱業、繊維加工 サービス業 (コールセンター等)
気候	熱帯雨林気候/熱帯サバナ気候
日系人口	約800人
宗教	カトリック/キリスト教
言語	スペイン語 (ドミニカ共和国) / 英語 (カリブ地域)
参考リンク	ドミニカ共和国基礎データ 外務省



カリブ海に面する国々の共通の課題です！



背景

- ・2011年頃から、ドミニカ共和国含めカリブ地域一帯にサルガッサムと呼ばれる海藻類が大量に漂着（大西洋沿岸で2,400万トン）するようになった。気候変動や海に流入する排水の富栄養化が原因と言われている。
- ・サルガッサムはビーチに漂着した後、腐敗し悪臭を発するので、観光業に大ダメージ（観光業はドミ共ではGDPの8.2%、カリブ地域ではGDPの30～40%を占める。）



現状と課題

- ・研究機関によるモニタリング、民間企業による回避バリアの設置や機材での回収、堆肥化やバイオ燃料化などの利活用が試みられている。
- ・利活用に課題があり（重金属(ヒ素)や塩分を含むなど）、ビジネスモデルになるような利用法がまだ開発されていない。

Gabinete de Lucha Contra el Sargazo

PLAN NACIONAL DE CONTINGENCIA PARA EL MANEJO DE LAS ARRIBAZONES DEL SARGAZO (PNCMAS)



現地政府等のニーズ

- ・サルガッサム対策のためのラウンドテーブルやコンソーシアムを設立し、漂着の早期予測、回収・利活用・処分の一連の流れを支援している。
- ・日本の技術で、効果的なモニタリングや回収・利用法を確立し、サルガッサムの一連のバリューチェーンの構築の支援！

【サルガッサム利活用 課題と解決のアイデア】

- 重金属や塩分を含む（生体影響の評価）
- 季節性（漂着時期がある）
- ビジネスとなるモデルの構築

（液肥、バイオプラスチックの市場は成長中！）



バイオペレット



レンガ

Sargassum Uses
Guideより



ビール



バイオプラスチック



肥料



バイオペーパー

○想定される現地のカウンターパート

- ・ドミニカ共和国環境資源天然省（MMARN）
- ・ホテルセクター（プンタカナ財団）
- ・スタートアップ（Algae Nova, SOS Carbon）
- ・研究機関、大学（INTEC, UWI, UNAPEC etc）
- ・水産系地域センター（CRFM）

○想定される実証内容

- ・現地のC/Pとサルガッサムを活用したビジネスモデルの構築を行う。
（製品の生産、市場調査など）

○JICA事務所の支援

- ・事業の計画・実施・モニタリング段階における上記行政機関や民間企業の紹介、関連協議・合意に係る側面支援等。事業アイデアに関する各種相談への対応。
- ・共通課題を抱える域内諸国への提案される技術の紹介、関係者の紹介等

